

取扱説明書・保証書付

(WH) MCE-3502
(BK) MCE-3503
(PK) MCE-3504



超音波ミスト
加湿器
ウルミィ

Urumie

この度はお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。お読みになった後は、大切に保管して下さい。

安全上のご注意

	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。
--	---	--	---

※1 傷害とは、治療入院や長期の通院等を要しない、ケガや感電等を示します。
※2 物的損害とは、家屋や家財および家具やペットにかかわる拡大損害を示します。

	禁止(してはいけないこと)を示します。		強制(必ずすること)を示します。
--	---------------------	--	------------------

警告

	・絶対に分解・修理・改造は行わない。 ※製品の故障・感電・思わぬケガに繋がることがあります。
	・子供等取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。 ※思わぬケガの原因となります。 ・コードやプラグを破損するようなことはしない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。 ・コードやプラグが痛んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。

	<ul style="list-style-type: none"> 必ずお手入れをする。※お手入れをせずに使用続けると、雑菌の繁殖に繋がります。 注水 / 排水は、プラグをコンセントから抜いた状態で行う。 ・必ず交流 100V で使用する。 プラグのほこり等は定期的にとる。 ・プラグは根元まで確実に差し込む。 コードの取り扱いには下記の内容を守る。 ※コードの誤った取り扱いは断線火災事故に繋がります。 ●コードを本体に巻き付けない。 ●コードをドア等で挟まない。 ●コードの上に物を置かない。 ●コードを過度に曲げない。 ●コードをきつく束ねたり結んだりしない。 ●コードをねじらない。 ●コードを引っぱってプラグを抜かない。(必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。)
<p>コードはゆったりと束ね、本体から出るコードは無理なく延ばす。</p>	

	・濡れた手でプラグの抜き差しはしない。 ※感電の原因となります。		・浴室などの水場で使用しない。 ※製品の故障・感電の原因となります。
	・台座を水につけたり、水をかけたりしない。 ※感電・ショート・火災・故障の原因となります。		

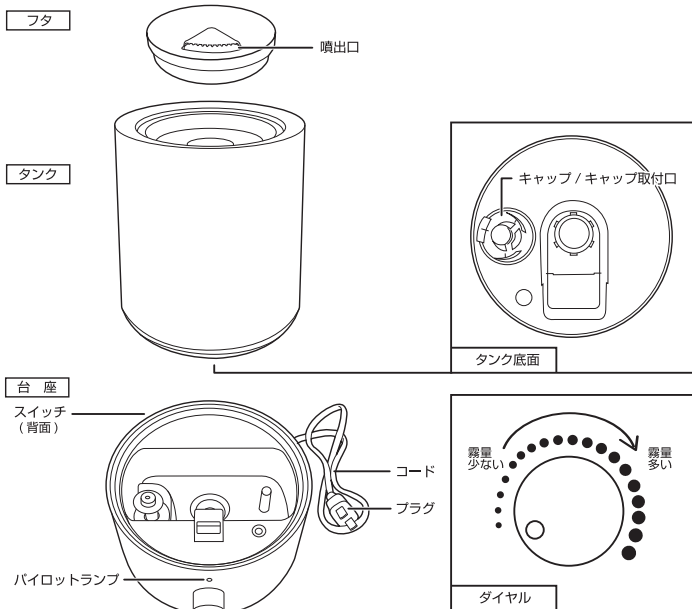
注意

	<ul style="list-style-type: none"> 本製品を本来の使用目的以外には使用しない。 破損したら使用しない。 子供の手の届く場所に保管しない。 不安定なところで使用しない。 タコ足配線はしない。 		<ul style="list-style-type: none"> お手入れはプラグをコンセントから抜いた状態で行う。 持ち運ぶ場合は、必ず台座部分を持つ。 ※タンクや、フタを持って持ち上げないで下さい。 タンクを台座にセットする際は、タンクと台座の間に手や指をはさまないように注意する。
	<ul style="list-style-type: none"> 使用時以外はプラグをコンセントから抜く。 移動させる場合は、必ずプラグをコンセントから抜く。 		

使用上のご注意 この内容を守らないと、製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障や劣化に繋がります。

- 稀にタンク内に水滴が残っている場合がありますが、これは出荷時の検品によるものです。製品の動作に問題はありません。
- タンクに入れる水はきれいな水道水をご使用下さい。ミネラルウォーターや浄水器の水等を使用すると、水垢が多くなり、雑菌が繁殖しやすくなります。
- ご使用後は必ず毎回排水し、保管時は乾燥した状態を保って下さい。
- タンクに入れる水の量は、最大約2ℓです。規定量以上の水を入れしないで下さい。
- タンクに水以外の物を入れしないで下さい。
- 高温になる所、湿気が多い所、直射日光の当たる所への保管や放置はおやめ下さい。
- 落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
- お手入れの際、シンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤のご使用はおやめ下さい。
- この製品は一般家庭用です。業務用のご使用はおやめ下さい。

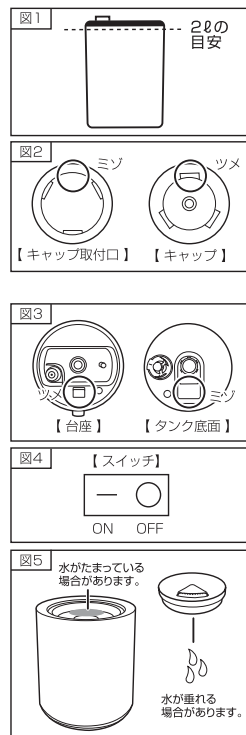
各部名称



使用方法

- ※ ご使用後ご使用前に、タンク内に少量の水を入れて軽く振り、中を洗って下さい。
- ※ 持ち運ぶ場合は、必ず台座部分を持って下さい。タンクを持って持ち上げると、台座の落下に繋がります。タンクに入れる水はきれいな水道水をご使用下さい。ミネラルウォーターや浄水器の水等を使用すると、水垢が多くなり、雑菌が繁殖しやすくなります。

- フタをタンクから外し、タンクを台座から外します。
- タンク底面のキャップを外し、タンク内に水を入れます。(各部名称【タンク底面】参照)
※ 使用時のタンク容量は約2ℓです。規定量以上の水を入れしないで下さい。(図1参照)
- キャップ取付口のミゾとキャップのツメを合わせてキャップを閉めます。(図2参照)
- タンクを台座にセットします。台座のツメにタンクのミゾが合うようにはめて下さい。(図3参照)
※ タンクと台座の間に手や指をはさまないようにご注意ください。
※ 傾いたりしないように、しっかりと台座にタンクをのせて下さい。
※ しっかりとまはまっている場合は、気泡がタンク内に上がりタンクから台座に注水されます。台座に注水されない場合(タンク内に気泡が上がりしない場合)は、タンクを台座にしっかりとまはめ直して下さい。
- タンクの上に、フタを取り付けます。
※ フタの噴出口の向きは自由な向きに調節できます。
- プラグをコンセントに接続し、スイッチの(一)を押して電源を入れます。(図4参照)
⇒パイロットランプが緑に点灯します。
⇒ミストが噴出口から始めます。
- ダイヤルを回しミストの量を調整します。(各部名称【ダイヤル】参照)
※タンク内の水が無くなると、自動でミストは停止し、パイロットランプが赤く点灯します。水が無くなった場合は、給水して下さい。
※ご使用後の注意: ご使用後に、フタの内側やタンクの上部に水がたまっている場合があります。フタをはずす際、給水 / 排水する際は、ご注意ください。(図5参照)



お手入れ方法 ご使用後は必ずタンクに残った水を毎回排水し、保管時は乾燥した状態を保って下さい。

- ※ 必ずお手入れをして下さい。お手入れをせずに使用続けると、雑菌の繁殖に繋がります。ご使用後は必ず毎回排水して下さい。タンクに水が残ったまま放置しないで下さい。

- ※ 台座は防水ではありません。台座を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
- ※ お手入れをする際は、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。

毎回のお手入れ

- 台座の外側は、乾いた柔らかいタオルで軽く拭いて下さい。
- 台座の内側は、水を含ませてかたく絞った布で拭いて下さい。
- タンクや台座に残った水は、排水して下さい。
- フタ・タンク・キャップは水洗いして下さい。
- ご使用後ご使用前に、タンク内に少量の水を入れて軽く振り、中を洗って下さい。
※中性洗剤、石けん水等のご使用はおやめ下さい。

長期間保管する時

- 毎回のお手入れを行った後、全てのパーツを良く乾燥させてから保管して下さい。
- ※ 乾燥させる際は、直射日光を避けて乾かして下さい。

カルキ(水垢)の掃除

- ※ 汚れの度合いや状態に応じてクエン酸溶液の濃度を調整して下さい。
- ※ クエン酸溶液を入れたタンクを台座にセットしないで下さい。
- ※ クエン酸は梅や柑橘類等果実に含まれる酸の一種で、薬局等でお求め頂けます。

【タンク】

- 汚れの度合いや状態に応じて①～④の手順を2～3回繰り返して下さい。
 - ① タンクに約2～3%のクエン酸溶液(別売※)を約2ℓ入れ、キャップを閉め、約20分以上放置します。
 - ② タンク内のクエン酸溶液を少し捨て、キャップをしっかりと閉めてタンクを振ります。
 - ③ キャップを開けて、クエン酸溶液を全て捨てます。
 - ④ タンクに水を入れ、キャップを閉めて振り、濯ぎます。

【台座】

- 台座に残った水を捨て、クエン酸溶液を含ませかたく絞った布で、台座全体を丁寧に拭いて下さい。

仕 様

寸 法	約φ16.5×H26cm		加湿方式	超音波加湿方式	
コ ー ド	約110cm	定格電圧	100V	加湿量	最大: 約400ml/h
重 量	約700g	定格周波数	50/60Hz	適用面積	洋室(コンクリート): 11畳(18㎡)
材 質	ABS AS	定格消費電力	最大 25W	※最大で使用時	和室(木造): 7畳(11㎡)
電源方式	交流式	タンク容量	約2ℓ	連続加湿時間	(最大で使用した場合)約5時間

※ 適用面積(目安)は、日本電機工業会規格(JEM 1426)に基づき、表記したものです。ただし部屋の構造、材質、暖房器具、お部屋の温度、湿度等により適用面積は異なる場合があります。